ベーシック インフォメーション

STRAUMANN® CARES® インプラント修復

Straumann® CARES® Implant-borne prosthetic

COMMITTED TO
SIMPLY DOING MORE
FOR DENTAL PROFESSIONALS

ITI International Team for Implantology

ITI (International Team for Implantology) は独立した学術研究団体であり、これからもStraumann社のパートナーとして〈研究·奨学·教育〉に関する活動を行っていきます。

目次

1. はじめに 2

2. 概要 3

2.1 Straumann® CARES® システムによる修復オプション 4

2.2 技術要件 5

2.3 システム概要 6

3. CARES® Visualの準備 8

3.1 マスター模型の製作 8

3.2 プランニング / Wax-up スリーブ 9

3.2.1 Straumann® CARES® Wax-up キット 9

3.2.2 Step-by-Step 使用法 10

3.3 Straumann® スキャンボディ 13

3.3.1 Straumann® CARES® Mono スキャンボディ 13

3.3.2 Straumann® スキャンボディ 14

4. 修復物、設計、調整 15

4.1 修復: CARES® アバットメント 15

4.1.1 CARES® ワークフローの設計 16

4.1.2 調整(Straumann® CARES® アバットメント – 歯科技工所で完成) 16

4.1.3 装着(チェアサイド) 17

4.2 修復: CARES® Variobase™ アバットメント 18

4.2.1 CARES® ワークフローの設計 19

4.2.2 調整 19

4.2.3 装着(チェアサイド) 22

4.3 修復: CARES® Variobase™ コーピング 23

4.3.1 CARES® ワークフローの設計 24

4.3.2 調整(Straumann® CARES® アバットメント – 歯科技工所で完成) 24

4.4 修復: CARES® インプラントブリッジ & バー 25

4.4.1 Straumann® CARES® インプラントブリッジ 27

4.4.2 CARES® バー 31

5. インスツルメント 36

5.1 SCSスクリュードライバー 36

5.2 ラチェット 36

5.3 ポリッシングエイド、技工用アナログホルダー 36

5.4 バー用補助インスツルメント 37

5.5 Wax-up キット 37

6. 関連カタログ・マニュアル 38

免責規定 39

1. はじめに

本書の目的

本書は、歯科技工士を対象として、Straumann® CARES® Visual ソフトウェアを用いてアバットメント、コーピング、バー、スクリュー固定式ブリッジをカスタム設計する手順を説明することを目的としています。
Straumann® CARES® CADCAMシステムを使用する際のスキャンボディやワックスアップスリーブの適切な取り扱い方法など、歯科技工所における作業ステップについて、従来法と比較した補足的な情報を提供します。

また、ストローマンでは『ベーシック インフォメーション Straumann® CARES® 天然歯修復』、『Straumann® CARES® Visual ソフトウェアマニュアル』などの各種マニュアルも取り揃えています。

本書で解説されている製品は、すべてCADで設計·製造したものです。Straumann® CARES® Visualは適応症関連の状況におけるデバイスの設計をサポートします。

Straumann® CARES®のインプラント修復に関連するコンポーネントの加工や装着に関する説明として、本書の内容だけでは十分ではありません。これらの加工や装着は、歯科修復に関して十分なトレーニングを受けた歯科技工士のみが行うことができます。適切なトレーニングを受けずにStraumann® CARES®のインプラント修復や関連コンポーネントを加工、装着すると、不具合が生じる可能性やその他の問題を誘引する恐れがあります。

本書に説明している手順に従わない場合、患者様を傷つけたり以下のような問題が生じる可能性があります。

- コンポーネントの誤嚥や誤飲
- 破損
- 感染

注）

- インプラント修復による上部構造は、患者様が口腔内をできる限り衛生に保つことが必要です。修復の計画をたて設計する際には、当事者全員でこの点をご確認ください。
- 最小限必要なインプラントの本数、インプラントの種類、直径、装着の手順などStraumann® インプラントの適応症や禁忌に関する情報は、『ベーシック インフォメーション SURGICAL PROCEDURES』をご参照ください。

2. 概要

先端の技術を駆使したStraumann® CARES®による補綴

Straumann® CARES® インプラント修復は、単独歯欠損、複数歯欠損、および無歯顎の症例に対するカスタマイズソリューションを提供します。

豊富なマテリアルと修復物を取り揃え、インプラントの修復に柔軟に対応します。

2.1 Straumann® CARES® システムによる修復オプション

	スクリュー固定	セメント固定
	 1 2 3 1 CARES® セラミックアバットメント 2 CARES® Variobase™ アバットメント 3 CARES® Variobase™ コーピング	 1 2 3 4 1 CARES® セラミックアバットメント 2 CARES® Variobase™ アバットメント 3 CARES® チタンアバットメント 4 CARES® Variobase™ コーピング
	 CARES® インプラントブリッジ	 1 2 3 4 1 CARES® セラミックアバットメント 2 CARES® Variobase™ アバットメント 3 CARES® チタンアバットメント 4 CARES® Variobase™ コーピング

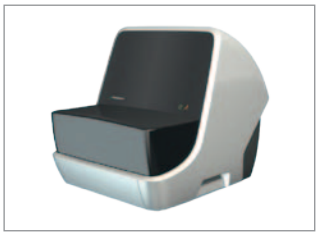
	スクリュー固定	オーバーデンチャー
	 CARES® インプラントブリッジ	 CARES® バー

2.2 技術要件

CARES®による修復には様々な方法があり、異なる「組み合わせ」が可能です。Straumann® CARES®で修復物を設計しオーダーするには、これらを組み合わせることが必要です。

スキャナー
従来型のトレーで印象採得します。歯科技工所でマスター模型（できれば構成部位の取り外しが可能な状態）をStraumann指定のスキャナー（Straumann® CARES® Scan CS2等）でスキャンします。

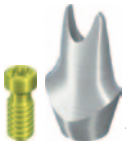
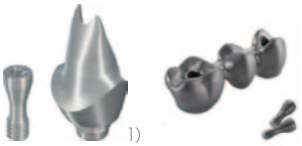
ソフトウェア
修復物は、Straumannの製造能力に適合したサイズになるよう、Straumann® CARES® VisualなどStraumann認定のソフトウェアを使用して設計されます。

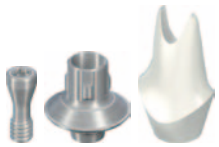
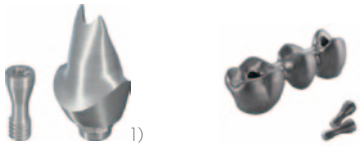
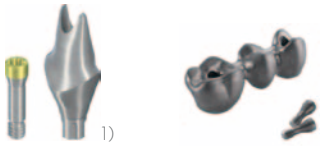
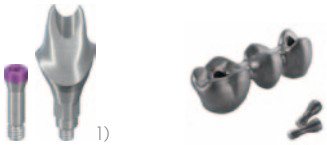


CARES® Scan CS2

Straumann® CARES® Visual ソフトウェア

2.3 システム概要

	NN	RN
トランスファーパーツ	048.167 048.067 048.087 048.087-04 048.130	048.168 048.068 048.088 048.088-04 048.108 048.124
テンポラリー修復[2]		
チタンアバットメント／ブリッジ（純チタングレード4／コバルトクロム合金）[2]	 1)	 1)
セラミック修復[2]		
CARES® バー（純チタングレード4／コバルトクロム合金）[2]		
スクリュー	049.177	048.356 SRBB[3]/チタンVariobase™
バー マトリックス		Dolder® Egg-shape（スタンダード/ミニ）* Dolder® U-shape（スタンダード/ミニ）*

WN	NC	RC
 048.169 048.069 048.089 048.089-04 048.171	 025.2915 025.2905 025.2903 025.2903-04 025.2101	 025.4915 025.4905 025.4903 025.4903-04 025.4101
		
 1)	 1)	 1)
	1)	
 048.356 SRBB[3]/チタン/Variobase™	 025.2900 チタン/セラミック 025.4900 SRBB	 025.4900 SRBB/チタン/Variobase™
 Round Bar*		

[1] Straumann® CARES® アバットメントは、CARES® Visualソフトウェアのみでの注文となります。
[2] Straumann® CARES® CADCAMプロダクションセンターで製作されます。
[3] SRBB：CARES® インプラントブリッジ&ドルダーバー (Screw-Retained Bridge & Bar)
* ストローマンでは販売しておりません。

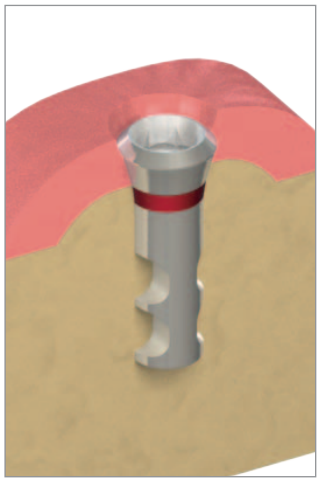
3. CARES® Visualの準備

前提条件

- カラーチャートやデジタル計測機器を使って歯の色調が特定されていること
- 印象が採得されていること

色調の情報と印象の両方を歯科技工所に送付します。

3.1 マスター模型の製作



タイプ4の歯科用石膏(ISO6873)を用いてマスター模型を通法で製作します。高品質の修復物を製作するために、以下の条件に従ってください。

- 破損していない新しいStraumannのインプラントアナログのみを使用してください。
- インプラントアナログを埋め込み、模型に固定します。
- 必ず歯肉マスクを使用して、エマージェンスプロファイルのカントゥアを最適にしてください。
- CARES® SRBB[1]については、Straumannが適合性を確認できるように着脱可能な大型の歯肉マスクを使用してください。
- 可能であれば、スキャンに対応したマテリアルの歯肉マスクを使用してください。

[1] SRBB: CARES® インプラントブリッジ&ドルダーバー(Screw-Retained Bridge & Bar)

3.2 プランニング/Wax-up スリーブ

唇面を中心とした審美性の高いプランニングのために、フルアナトミックのワックスアップを設計し、口腔内で寸法と位置を確認します。
CARES® アバットメントについては、CARES® Visualで設計する代わりにワックスアップをWax-up スリーブホルダーでスキャンしオーダーすることが可能です。

CARES® VisualでCARES® インプラントブリッジを設計する際にワックスアップをスキャンして参考にすることができます。

アバットメントのワックスアップにWax-up スリーブを使用します。

注)
Wax-up スリーブは単回使用の製品です。再使用すると、インプラントの位置に対してアバットメントの位置を正確に保証できず、ミリング後に完成した製品の精度が落ちるおそれがあります。

3.2.1 Straumann® CARES® Wax-up キット

Straumann® CARES® Wax-up キットには、スキャナーにWax-up スリーブを配置するために必要なWax-up スリーブホルダーがすべて含まれており、カスタマイズしたアバットメントを正確にスキャンするのに不可欠です。

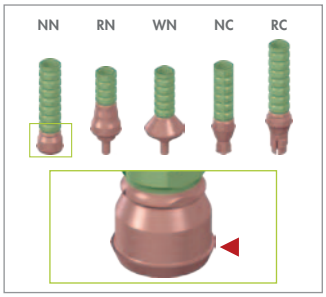
製品番号
- 019.0063 –アクセサリWax-up アバットメントキット
  (Straumann® アバットメント用)
- 019.0050 – アクセサリWax-up キット for Cam
  (Camlog® アバットメントのVariobase™ コーピングに使用)
- 019.0051 –アクセサリWax-up キット for NB
  (NobelReplace™ アバットメントのVariobase™ コーピングに使用)

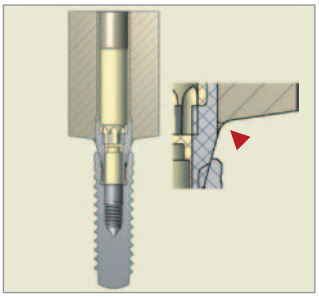
3.2.2　Step-by-Step使用法

Wax-up スリーブをマスター模型に装着します。

3.2.2.A　一般的なWax-up スリーブの調整

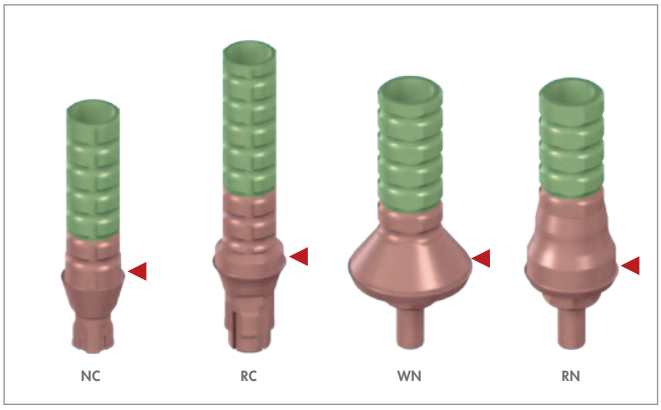
- インプラントショルダーより上の部分は最小限必要な本体部分を示しているので、研磨はしないでください（右図:赤で表示）。
- Wax-up スリーブは上部のみ短くすることが出来ます（右図:緑で表示）。
- Wax-up スリーブの基本マージンの下はワックスを追加しないでください（赤い矢印）。
- エッジが鋭いデザインは避けてください。





3.2.2.B　Variobase™ アバットメント用のWax-up スリーブの調整

Variobase™ アバットメントの高さに合わせて、Wax-up アバットメントに最低の高さを確保します。インプラントショルダーより上の部分は最小限必要な本体部分を示しているので、研磨はしないでください（右図:赤で表示）。Wax-up スリーブは上部のみ短くすることが出来ます（右図:緑で表示）。Wax-up スリーブの基本マージンの下はワックスを追加しないでください（赤い矢印）。



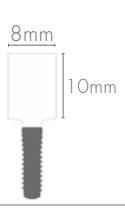
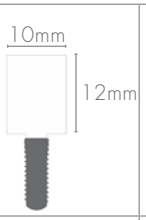
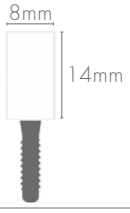
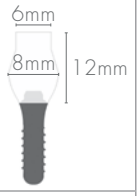
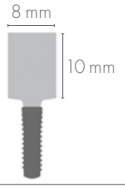
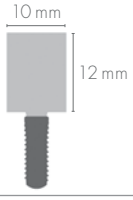
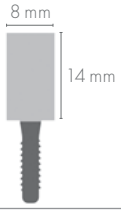
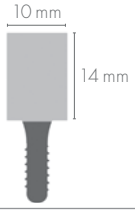
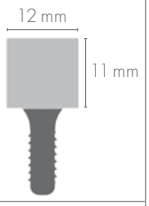
3.2.2.C アバットメント/スクリュー固定式ブリッジのワックスアップ

スキャン可能なワックスのみを使用して正確にスキャンしてください。スキャン可能なワックスを使用しない場合は、スキャンスプレーを使ってください。

注)
安定性の確保のため、フレームの製作にはブリッジをワックスアップする際に収縮の少ない材料の使用を推奨します。

必ずWax-up スリーブの突起部をカットしてからスキャンを行ってください。そうしないと、この部分もスキャンされミリングされることになります。

3.2.2.D CARES® アバットメントの製作に必要な最大の形状

インプラントプラットフォーム	NC	RC	NN	RN	WN
Wax-up スリーブ 製品番号	025.2903	025.4903	048.087	048.088	048.089
ジルコニアセラミックス					
CARES® セラミック アバットメント 製品番号	027.2650	027.4650	040.679	040.688	
チタン					
CARES® チタン アバットメント 製品番号	027.2620	027.4620	040.693	040.689	040.694

注)
ワックスアップの角度は30°を超えないようにしてください。

オプションA: フルアナトミックのデザイン（Variobase™ テンポラリーアバットメント）

審美性にすぐれたプランニングのために、フルアナトミックのワックスアップを用意します。Wax-up スリーブを用いてフルアナトミックのテンポラリーアバットメントの模型を製作します。

オプションB: リデュースアナトミックのデザイン
（Variobase™ テンポラリーアバットメント、Variobase™ アバットメント、CARES® アバットメント、CARES® インプラントブリッジ）

1

審美性の高いプランニングのために、フルアナトミックのワックスアップを準備します。

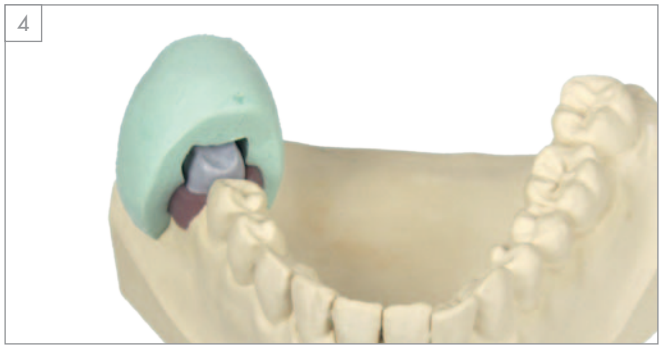
2

フルワックスアップの上にシリコンコアをかぶせて、修復物の最適な形状を決定します。

3

Wax-up スリーブを使用して、リデュースアナトミックの修復物の模型を製作します。

4



シリコンコアでワックスアップをチェックします。

3.3 Straumann® スキャンボディ

製品の仕様

Straumann® スキャンボディは、CADCAMによるスキャン工程において個々のインプラントやアナログの位置と方向を表します。これにより、CADCAMソフトウェアでCADCAM修復物の正確な位置を定めることが可能になります。

製品の概要

Straumannには2種類のスキャンボディがあり、操作方法やスキャナーとの適合性が異なります。

- Straumann® CARES® Mono スキャンボディ
- Straumann® スキャンボディ

注）

Straumannのスキャンボディおよびコンポーネントは、単回使用の製品です。スキャンボディを再使用すると、正確な結果が得られないおそれがあります。インプラントの安定性を十分に確保してから、スキャンボディをスクリューで固定/スクリューを緩めてください。いずれの場合もスキャンスプレーは不要です。

3.3.1 Straumann® CARES® Mono スキャンボディ

※CARES® Scan CS2にのみ対応のスキャンボディです。

3.3.1.A 製品の特長とメリット

高い操作性

- 固定用スクリューを含めた一体型のコンポーネント

優れた機能性

- マルチユニットの修復物に最適なシステム構成

幅広く使用されているマテリアル

- PEEKが優れたスキャンを実現

3.3.1.B Step-by-Step使用法

組立て
アナログにスキャンボディがフィットするかをチェックし、スクリューを手で締めます（最大トルク値15Ncm）。アナログにポストを固定する際は、SCSスクリュードライバーのみを使用してください。ぴったりフィットしているか、回転したり上下に緩みがないかを再度確認します。単冠修復物を計画している場合、スキャンボディの角度のついた表面を（隣在歯ではなく）頬側に向けます。スキャンボディが隣在歯に触れないようにしてください。

3.3.2 Straumann® スキャンボディ

※etkon™ スキャナー es1以降のスキャナーに対応のスキャンボディです。
（2013年末廃番予定）

3.3.2.A 製品の特長とメリット

スキャンボディのコンポーネント
- スキャンポスト、スキャンキャップ、スクリューで構成されています。

単冠修復物用
- etkon™ スキャナー es1の要件を満たすスキャンボディの形状

幅広く使用されているマテリアル
- PEEKが優れたスキャンを実現

3.3.2.B Step-by-Step使用法

組立て
スキャンボディをマスター模型に乗せる前に、すべてのコンポーネントに汚れや不具合（キズ、変形、変色）がないかを確認してください。スキャンポストがアナログにフィットしているかを確認し、スクリューを装着して手で締め付けます（最大15Ncm）。スキャンポストをアナログに固定する際は、SCSスクリュードライバーのみを使用してください。ぴったりフィットしているか、回転したり上下に緩みがないかを再度確認します。
スキャンキャップをスキャンポストに乗せます。接合部にあるスキャンキャップとスキャンポストの平らな部分が互いに一直線になっているか確認してください。平らな部分が回転してスキャンキャップとスキャンポストを固定します。位置が正しければ、キャップがポストにカチッとはまります。指先で軽く押して、キャップとポストの隙間をふさいでください。

4. 修復、設計、調整

4.1 修復: CARES® アバットメント

用途
- セメント固定クラウン
- メソ構造によるセメント固定ブリッジ
- 直接ベニアが可能なスクリュー固定式クラウン（CARES® アバットメント、ジルコニアのみ）

マテリアル
- グレード4 純チタン
- ジルコニアセラミックス

禁忌
- ジルコニアセラミックス（ZrO_2）、酸化イットリウム（Y_2O_2）、酸化アルミニウム（Al_2O_3）、二酸化ハフニウム（HfO_2）、チタン（Ti）、チタン合金（Ti_6Al_7Nb チタン、ニオブ、アルミニウムまたはTAN）対してアレルギーのある患者

特長
- 前歯部および歯肉が薄い患者用のアバットメントに適したジルコニア製CARES® アバットメント
- アナトミックエマージェンスプロファイル
- 患者固有のカスタマイズされたエマージェンスプロファイルが軟組織をサポートし、高い審美性を実現
- Straumann® CARES® アバットメントには製品保証プログラムが適用*

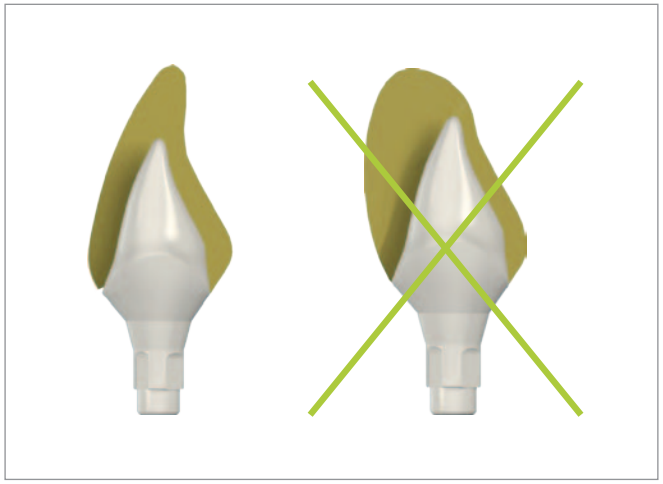
*詳細は『ストローマン製品保証プログラム』をご参照ください。

4.1.1　CARES® ワークフローの設計

ステップ1 – CARES® Visualの準備
「3. CARES® Visualの準備」の要件に従ってください。

ステップ2 – CARES® Visualによる設計
『Straumann® CARES® Visual ソフトウェアマニュアル』に従って修復物を設計します。

4.1.2　調整（Straumann® CARES® アバットメント – 歯科技工所で完成）



オプションA: スクリュー固定式クラウン

Straumann® CARES® セラミックアバットメント

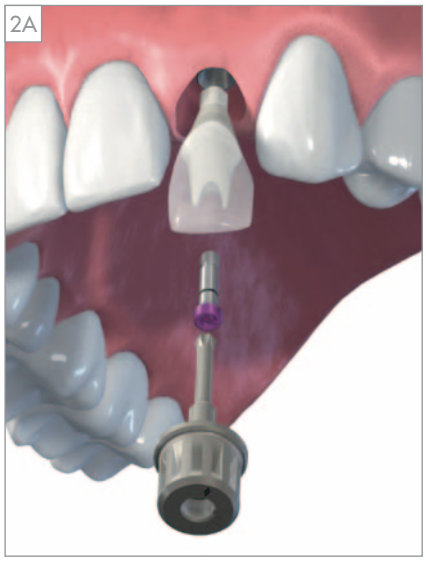
- ジルコニアセラミックスの熱膨張係数に合わせたセラミックスを使用したスクリュー固定式クラウンを製作します。
- ジルコニアセラミックス製のStraumann® CARES® セラミックアバットメントの熱膨張係数は、10.5×10^{-6}/K（25°C – 500°C）です。

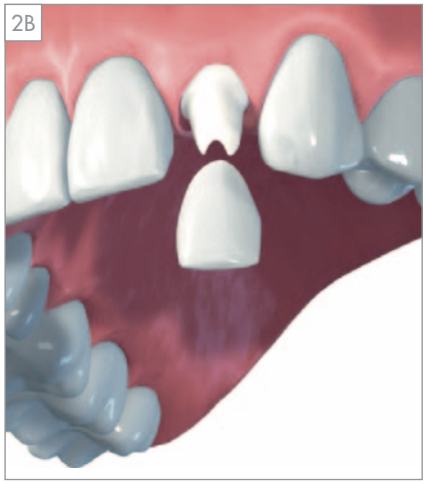
注）
アバットメントのポーセリンベニアのレイヤーの厚さが均一になるよう十分に注意してください。

オプションB: セメント固定式クラウン

- Straumann® CARES® セラミックアバットメントをインプラントアナログに乗せます。
- 通法でセメント固定式シングルクラウンを製作します。
- ベニアを施します。

4.1.3　装着（チェアサイド）





Straumann® CARES® アバットメント – 修復手順

最終修復物がマスター模型に固定され、歯科医院に納品されます。

ステップ1 – 準備

- ヒーリングキャップまたはテンポラリー修復物を取り外します。
- マスター模型から上部構造を取り外し、アバットメントをアナログから緩めます。
- インプラントとアバットメントの内部を隅々まできれいにして乾燥させます。

注）

模型に複数のアバットメントが使われている場合は、トランスファーエイドを使用してください。アバットメントがインプラントに装着されている場合は、セメントは使用しないでください。ジルコニア製のStraumann® CARES® アバットメントは、高圧蒸気滅菌したり蒸気噴射で消毒することはできません。

ステップ2 – Straumann® CARES® セラミックアバットメントの装着

オプションA: スクリュー固定式クラウン

- 消毒したStraumann® CARES® セラミックアバットメントをインプラントに装着します。SCSスクリュードライバー、ラチェット、トルクコントロールディバイスを用いて、スクリューを35Ncmで締め付けます。
- 脱脂綿やガッタパーチャなどを使いスクリューのアクセスホールをふさぎます。こうすることで、後からクラウンの交換が必要になった場合のアバットメントの取り外しが可能になります。

オプションB: セメント固定式クラウン

- 消毒したStraumann® CARES® セラミックアバットメントをインプラントに装着します。SCSスクリュードライバー、ラチェット、トルクコントロールディバイスを用いて、スクリューを35Ncmで締め付けます。
- 脱脂綿やガッタパーチャなどを使いスクリューのアクセスホールをふさぎます。こうすることで、後からクラウンの交換が必要になった場合のアバットメントの取り外しが可能になります。
- 上部構造をアバットメントにセメントで固定します。
- 余分なセメントを取り除きます。

注）

Straumann® CARES® セラミックアバットメント用のベーサルスクリューを使用してください。

4.2 修復: CARES® Variobase™ アバットメント

用途
- スクリュー固定式またはセメント固定式クラウン
- メゾ構造によるセメント固定式ブリッジ

マテリアル
- zerion® LT（ジルコニアセラミックス）
- polycon® ae（PMMA）

禁忌
- ジルコニアセラミックスの化学成分（二酸化ジルコニウム（ZrO_2）、酸化イットリウム（Y_2O_3）、二酸化ハフニウム（HfO_2）、酸化アルミニウム（Al_2O_3）、チタン合金（Ti_6Al_7Nb、チタン、アルミニウム、ニオブまたはTAN），またはPMMA（ポリメタクリル酸メチル）に対してアレルギーまたは過敏症のある患者

特長
- カスタマイズされた形状とエマージェンスプロファイル、大きな歯に理想的
- Straumannのロゴが純正製品を保証
- 様々な色合いのzerion®とpolycon® ae
- polycon® aeコーピングは最長180日間使用可能
- Straumann® CARES® アバットメントには製品保証プログラムが適用*

*詳細は『ストローマン製品保証プログラム』をご参照ください。

4.2.1　CARES® ワークフローの設計

ステップ1 – CARES® Visualの準備
「3. CARES® Visualの準備」の要件に従ってください。

ステップ2 – CARES® Visualによる設計
『Straumann® CARES® Visual ソフトウェアマニュアル』に従って修復物を設計します。

4.2.2　調整

Straumann® CARES® Variobase™ アバットメントを取り出します。

ステップ1 – クラウンの製作

オプションA: スクリュー固定式最終修復物
ジルコニアセラミックスの熱膨張係数に合わせたセラミックを用いてスクリュー固定式クラウンを製作します。

注)
- CARES® Variobase™ コーピングはサンドブラストや研磨はしないでください。
- 10×10^{-6}/KのCTE値に適したベニア用のベニアセラミックはすべて使用できます。

アバットメントにベニアしたポーセリンのレイヤーが均一の厚みになるよう十分に注意してください。

使用可能なベニアセラミック:

- VITA VM® 9
- GC® Initial Zr
- VINTAGE® Zr

ベニア用マテリアルメーカーの加工手順に従ってください。

オプションB: セメント固定最終修復物

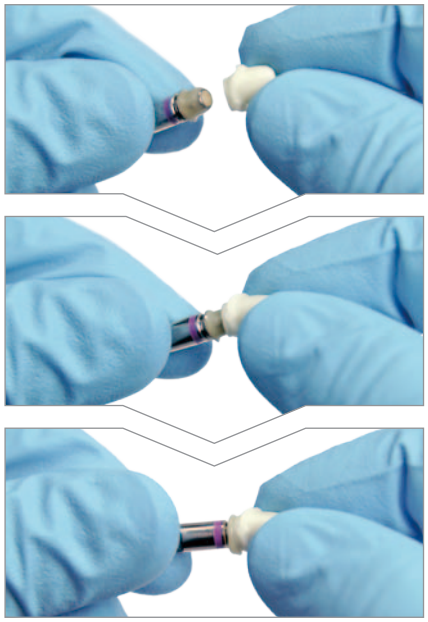
ステップ2に直接進みます – 下記のボンディングプロセス

ステップ2 – ボンディング

スクリューを手で締め付けて、Variobase™ アバットメントをインプラントアナログに固定します。ワックスでスクリューのアクセスホールをふさぎます。

注)

Variobase™ アバットメントはサンドブラストする必要はありません。



Variobase™ アバットメントに自動接着式の歯科用セメントを塗ります。セメントメーカーの使用法に従ってください。コーピングをVariobase™ アバットメントに接合します。

注)

アバットメントから余分なセメントを取り除き、セメントが乾いたら、コーピングの下のマージンを磨きます。

- 常にポリッシングエイドを使用してアバットメントの接合部を保護してください。
- 接合後、アバットメントを焼成しないでください。

ステップ3 – 歯科技工所での調整

オプションA: スクリュー固定式最終修復物
直接トランスファーエイドの使用(ステップ4)に進みます。

オプションB: セメント固定最終修復物
- Straumann® CARES® Variobase™ アバットメントをインプラントアナログに乗せます。
- 通法でセメント固定修復物を製作します。

ステップ4 – トランスファーエイドの使用
アバットメントをマスター模型から患者様に正確に移すために、アクリルを使用してマスター模型に個別のインデックスを製作することが可能です。インデックスは隣在歯を支えにして固定します。

注)
スクリューのアクセスホールをアクリルでふさがないでください。アバットメント内部にアクリルが入るとベーサルスクリューを緩めることができなくなる場合があるので、アクリルが入らないようにしてください。

4.2.3　装着（チェアサイド）

最終修復物は、マスター模型に固定されて歯科医院に納品されます。

ステップ1 – 準備

- ヒーリングキャップまたはテンポラリー修復物を取り外します。
- マスター模型から上部構造を取り外し、アバットメントをアナログから緩めます。
- インプラントとアバットメントの内部を隅々まで洗浄して乾燥します。

注）

- スレッドやスクリュー上部の表面は常に清潔に保ち、最終修復物には新しいスクリューを使用してください。

- Straumann® CARES® Variobase™ アバットメント zerion® は、湿熱（134°C）で5分間滅菌できます。

ステップ2 – 最終修復

オプションA: スクリュー固定式最終修復物

- 消毒した Straumann® CARES® Variobase™ アバットメントをインプラントに装着します。SCSスクリュードライバー、ラチェット、トルクコントロールディバイスを用いて、スクリューを35Ncmで締め付けます。
- 脱脂綿やガッタパーチャなどを使いスクリューのアクセスホールをふさぎます。こうすることで、後からクラウンの交換が必要になった場合のアバットメントの取り外しが可能になります。

オプションB: セメント固定最終修復物

- 消毒した Straumann® CARES® Variobase™ アバットメントをインプラントに装着します。SCSスクリュードライバー、ラチェット、トルクコントロールディバイスを用いて、スクリューを35Ncmで締め付けます。
- 脱脂綿やガッタパーチャなどを使いスクリューのアクセスホールをふさぎます。こうすることで、後からクラウンの交換が必要になった場合のアバットメントの取り外しが可能になります。
- 上部構造をアバットメントにセメントで固定します。
- 余分なセメントを取り除きます。

4.3 修復: CARES® Variobase™ コーピング

用途
- 他社製アバットメントに対応するスクリュー固定式またはセメント固定クラウン
- 他社製アバットメントに対応するセメント固定ブリッジ(メソ構造による)

マテリアル
- zerion® (ジルコニアセラミックス)
- polycon® ae (PMMA)

禁忌
- ジルコニアセラミックスの化学成分(二酸化ジルコニウム(ZrO_2)、酸化イットリウム(Y_2O_3)、二酸化ハフニウム(HfO_2)、 酸化アルミニウム(Al_2O_3)、チタン合金(Ti_6Al_7Nb、チタン、アルミニウム、ニオブまたはTAN)、またはPMMA(ポリメタクリル酸メチル)に対してアレルギーまたは過敏症のある患者

特長
- 様々な色合いのzerion®とpolycon® ae
- カスタマイズされた形状とエマージェンスプロファイル
- ボンディングベースコーピングの正確な適合

Polycon® ae コーピングは最長180日間まで使用できます。

4.3.1　CARES® ワークフローの設計

ステップ1 – CARES® Visual の準備
「3. CARES® Visualの準備」の要件に従ってください。

純正のボンディングベース、アバットメントのみを使用し、適切な使用方法に従ってください。サンドブラストをおこなう時は、アバットメントの接合部をポリッシングエイドで保護します。スキャンスプレーを使用するか、アバットメントの表面を酸化アルミニウム（50µm、最大2つのバー）でサンドブラストし、ボンディングベースを適切にスキャンできるようにします。

ステップ2 – CARES® Visualによる設計
Wax-up スリーブホルダーをCARES® Visual ソフトウェアに登録し、『Straumann® CARES® Visual ソフトウェアマニュアル』に従って修復物を設計します。

注）
Straumann® Variobase™ アバットメントのスクリューのアクセスホールの直径:
RN = 2.75 mm, WN = 2.75 mm, NC = 2.2 mm, RC = 2.3 mm

4.3.2　調整（Straumann® CARES® アバットメント – 歯科技工所で完成）

「4.2.2 調整」のステップに従ってください。

4.4 修復: CARES® インプラントブリッジ & バー

用途

Straumann® CARES® インプラントブリッジ&バーは、複数歯欠損または無歯顎の患者に対する補綴オプションで、インプラントに直接固定されるメゾ構造の修復物です。

マテリアル

- グレード4　純チタン
- コバルトクロム合金(coron®)

禁忌

- coron®(コバルトクロム合金)、コバルト(Co)、クロム(Cr)、タングステン(W)、シリコン(Si)、マンガン(Mn)、ニオブ(Nb)、グレード4 純チタン(Ti)TAN(チタン合金Ti-6Al-7Nb):チタン(Ti)、アルミニウム(Al)、ニオブ(Nb)、化学成分に対してアレルギーまたは過敏症のある患者

特長

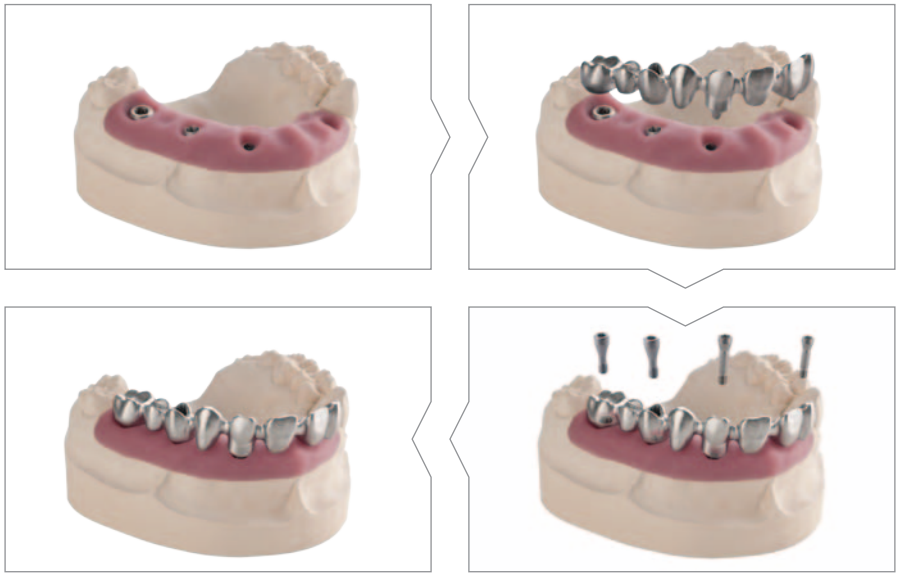
Straumann® CARES® インプラントブリッジ & バーの条件

CARES® インプラントブリッジ&バー対応のStraumann® インプラント		2本のインプラント間の角度の許容範囲			CARES® インプラントブリッジ&バー対応スクリュー
		TLのみ	BLのみ	TL、BLミックス	
Straumann®ティッシュ レベル インプラント	レギュラーネック(RN)	36°	–	24°	synOcta®ベーサルスクリュー048.356
	ワイドネック(WN)				
Straumann®ボーン レベルインプラント	レギュラーCrossFit®(RC)	–	24°		RC ベーサルスクリュー025.4900
	ナローCrossFit®(NC)				

注)

- Straumann® インプラントアナログは、Straumann® CARES® インプラントブリッジ&バーと併用はできません。「3.1 マスター模型の製作」をご参照ください。要件が満たされていない場合、Straumannはオーダーを受け付けない場合があります。
- 上記の表に記載されたスクリューのみを使用してください。CARES® インプラントブリッジ&バーのスクリューは別売りです。ボーンレベルインプラントのナローCrossFit®(NC)の場合でも、RCベーサルスクリュー(製品番号:025.4900)を使用してください。

4.4.1 Straumann® CARES® インプラントブリッジ



用途

Straumann® CARES® インプラントブリッジは、無歯顎、または部分欠損の症例に対し、レジンによる直接のベニア、または人工歯と組み合わせて修復するためのフレームワークです。

特長

- 2～16ユニットの幅広い適用
- 2～16本のインプラントに装着可能
  - ティッシュレベルインプラント(RN, WN)、ボーレベルインプラント(NC, RC)および BL / TL をミックスしたインプラントプラットフォーム
- 前歯部ポンティックの最大数: 4(犬歯間でのみ可能)
- 臼歯部ポンティックの最大数: 3
- フリーエンドの最大数: エンドにつき1つ
- Straumann® CARES® アバットメントには製品保証プログラムが適用*

*詳細は『ストローマン製品保証プログラム』をご参照ください。

注)

4ポンティックのブリッジには、2本以上のインプラントが必要です。

4.4.1.1 設計: CARES® ワークフロー

ステップ1 – CARES® Visual の準備
「3. CARES® Visualの準備」の要件に従ってください。

注)
唇面を中心に審美性の高いプランニングを実現するために、フルアナトミックのワックスアップの模型を製作し、口腔内でサイズと位置を確認します。CARES® Visualの修復物を設計する際に、このワックスアップをスキャンして参考にすることができます。

ステップ2 – CARES® Visualによる設計
『Straumann® CARES® Visual ソフトウェアマニュアル』に従って、修復物を設計します。

ステップ3 – CARES® インプラントブリッジ&バーのオーダープロセス
マニュアル、カタログに記載されている手順に従って、修復物をオーダーします。

4.4.1.2 調整

ステップ1
Straumannから納品されたブリッジとスクリューを患者の口腔内に装着します。歯科技工所での患者の記録用に患者用ラベルが同梱されているので、そちらを使用してください。ブリッジはインプラントアナログとインプラントに直接装着でき、追加処理や研磨、調整は不要です。

ステップ2
マスター模型上でテンションフリーの適合を確認(シェフィールドテスト)し、対合歯模型とともに咬合状態もチェックします。

ステップ3(オプション)
適合を確認するために、ブリッジを歯科医院に送付して患者の口腔内に再度装着します。スクリューが破損していていないことを確認し、SCSスクリュードライバーでスクリューを取り付けます。フリクションフィットが埋入の際にスクリューをコンポーネントに固定するため、安全に取扱いできます。

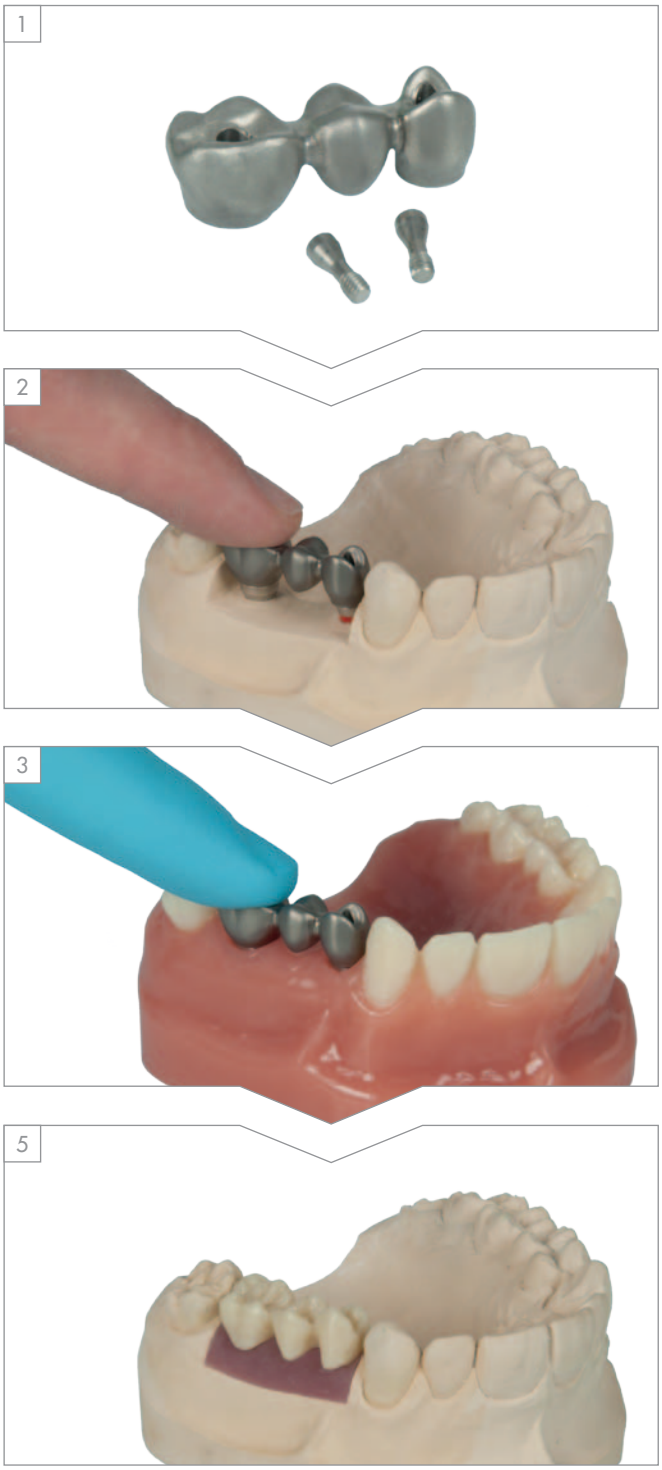
ステップ4
ベニア用マテリアルのメーカーからの指示に従って、ブリッジを準備し加工します。

ステップ5
適切な方法でフレームワークをベニアします。フレームワークのマテリアルに適切なベニア用マテリアルを選択し、必ず使用方法に従ってください。

注)
ベニアの際には、解剖学上のガイドラインに注意してください。咬合については、"freedom in centric"(中心咬合での自由度)の概念を適用してください。

ステップ6
マスター模型とブリッジを、スクリュー、添付文書、患者用ラベルとともに歯科医院に送付します。

注)
添付文書は、修復物と一緒に歯科医院に送付してください。



4.4.1.3 装着（チェアサイド）

最終修復物はマスター模型に固定され、新しいスクリュー、添付文書、患者用ラベルと一緒に歯科医院に納品されます。

ステップ1
ヒーリングアバットメントまたはテンポラリー修復物を取り外します。

ステップ2
インプラント内部を洗浄し乾燥させます。スクリューとブリッジを完全に洗浄してから装着します（洗浄、消毒、滅菌はガイドラインに従って行ってください）。

ステップ3
ブリッジの適合を確認し患者の口腔内に固定します。シェフィールドテストを実施した場合など、適合に不備が認められる場合はブリッジを固定しないでください。

ステップ4
洗浄したブリッジをインプラントに装着しスクリューを取り付けます。SCSスクリュードライバー、ラチェット、トルクコントロールディバイスを用いてスクリューを35Ncmで締め付けます。

注）
フリクションフィットが装着の際にスクリューをインストルメントに固定するため、安全に取扱いできます。

ステップ5
スクリューのアクセスホールを脱脂綿やガッタパーチャ、コンポジットなどでふさぎます。こうすることで、後からメインテナンスが必要になった際にブリッジを取り外すことが可能になります。

ステップ6
充填材を磨きます。

注）
追加のスクリューが必要な場合は、「4.4 修復: CARES® インプラントブリッジ&バーの条件」で該当する製品番号を確認してください。

4.4.2 CARES® バー

用途

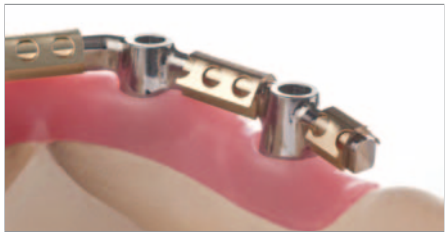
Straumann® CARES® バーは、無歯顎の症例にオーバーデンチャーと組み合わせて使用する修復用コンポーネントです。

特長

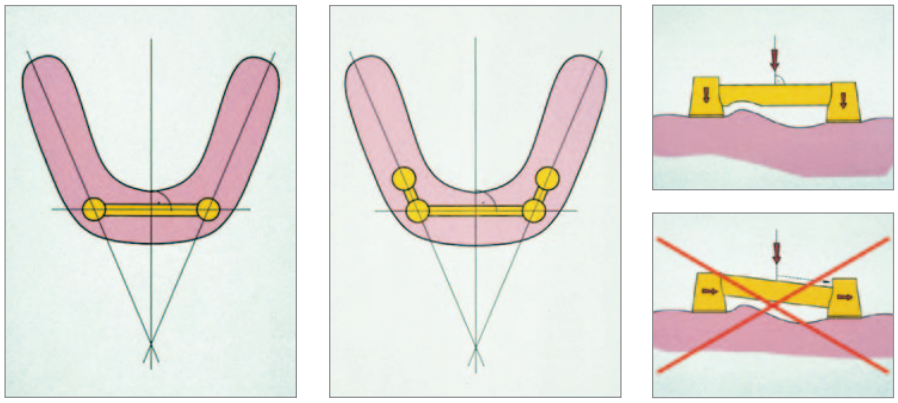
- 2～10本のインプラントに装着可能
  - ティッシュレベルインプラント(RN, WN)、ボーレベルインプラント(NC, RC)および BL / TL をミックスしたインプラントプラットフォーム
- フリーエンドの拡張が可能。
- 多彩なバーのデザイン
  - Dolder® U-shape (スタンダード/ミニ)
  - Dolder® egg-shape (スタンダード/ミニ)
  - Dolder® mix (ミックス: e.g. egg-shaped anterior, U-shaped free-end extensions)
  - Round Bar
- Straumann® CARES® アバットメントには製品保証プログラムが適用*

*詳細は『ストローマン製品保証プログラム』をご参照ください。

Straumann® CARES® バーのポートフォリオ

Dolder® U-shape Bar	Dolder® Egg-shape Bar	Round Bar
		
■ U型断面 ■ 安定したバーとマトリックスの組み合わせ	■ 卵型断面 ■ 垂直方向と回転が可能	■ 円形断面 ■ バー直径1.9 mm

バーの位置決め
応力が適切に分散するように、咬合平面と平行にバーの位置を決め歯槽堤に対して生理的最適な位置に配置します。バーを設計する際には、カバーデンチャーの装着経路を考慮してください。水平に負荷がかかるのを避けるために、バーが咬合平面に対して平行になるよう設計します。(Wirz, 1994)[1]



4.4.2.1 設計: CARES® ワークフロー

ステップ1 – CARES® Visualの準備
「3. CARES® Visualの準備」の要件に従ってください。

注)
審美性の高いバーのプランニングを行うために、オーバーデンチャーをろう着で製作し、口腔内で適合を確認します。CARES® Visualでバーを設計する際に、模型をスキャンして参考にすることが可能です。

ステップ2 – CARES® Visualによる設計
『Straumann® CARES® Visual ソフトウェアマニュアル』に従って、修復物を設計します。

ステップ3 – CARES® インプラントブリッジ&ドルダーバーオーダープロセス
マニュアル、カタログに記載されている手順に従って、修復物をオーダーします。

[1] Jager, K., Wirz J. Unterkiefer-Hybridprothesen mir vier Implantaten. Eine In-vitro-Spannungsanalyse. Schweiz. Monatsschr. Zahnmed., 104, 1489-1494 (1994).

4.4.2.2 仕上げ

ステップ1
Straumannから納品されたブリッジとスクリューを患者の口腔内に装着します。歯科技工所での患者の記録用に患者用ラベルが同梱されているので、そちらを使用してください。ブリッジはインプラントアナログとインプラントに直接装着でき、追加処理や研磨、調整は不要です。

注)
バーの形や横断面に変更を加えるとバーの適合に悪影響を及ぼすことがあります。バーとバーのコーピングの接合インターフェイスを変更したり弱めたりしないでください。

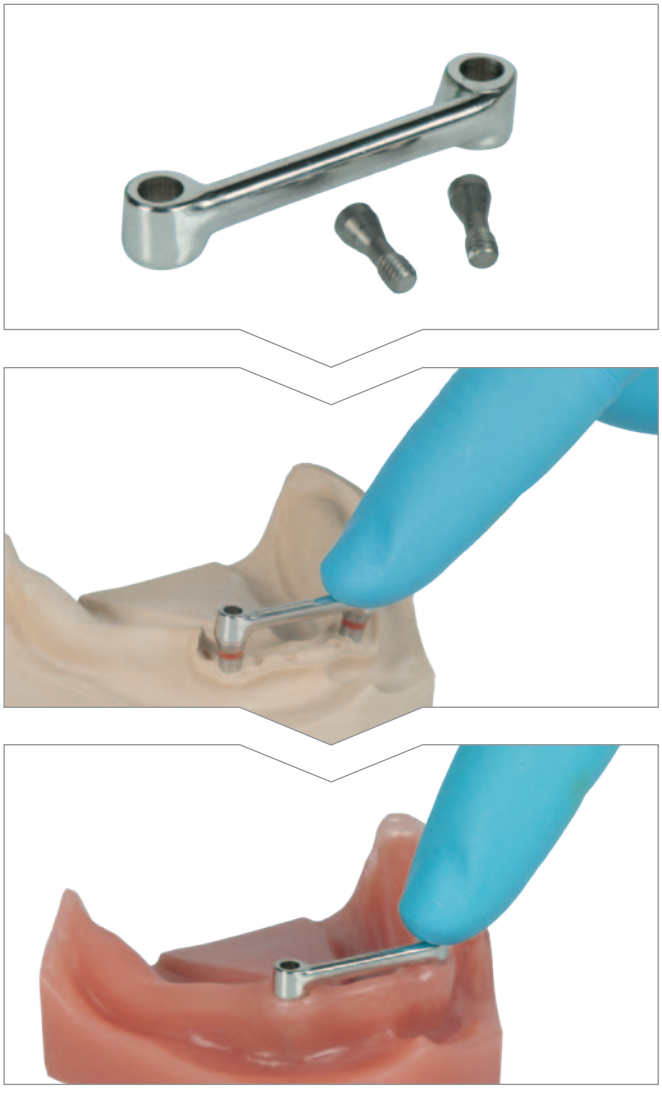
ステップ2
マスター模型上でテンションフリーの適合を確認(シェフィールドテスト)し、対合歯模型とともに咬合状態もチェックします。

ステップ3(オプション)
適合を確認するために、ブリッジを歯科医院に送付して患者の口腔内に再度装着します。スクリューが破損していていないことを確認し、SCSスクリュードライバーでスクリューを取り付けます。フリクションフィットが埋入の際にスクリューをコンポーネントに固定するため、安全に取扱いできます。

ステップ4
最終修復物を製作し、次ページの指示に従ってマトリックスを固定します。優れた適合を実現しStraumann® CARES® バーの機能を最大限に活かすために、修復にはCARES® システムのオリジナルのマトリックスのみを併用することを推奨します。

ステップ5
マスター模型、修復物、スクリュー、添付文書、患者用ラベルを歯科医院に送付してください。

注)
添付文書は、修復物と一緒に歯科医院に送付してください。



4.4.2.3 装着（チェアサイド）

最終修復物は、マスター模型に固定されて新しいスクリュー、取扱説明書、患者用ラベルとともに歯科医院に納品されます。

ステップ1
テンポラリー修復物を取り除きます。

ステップ2
インプラント内部を洗浄し乾燥させます。スクリューとバーを完全に洗浄してから装着します（洗浄、消毒、滅菌はガイドラインにしたがって行ってください）。

ステップ3
バーの適合を確認し患者の口腔内に固定します。シェフィールドテストを実施した場合など、適合に不備が認められる場合はバーを固定しないでください。

ステップ4
洗浄したバーをインプラントに装着しスクリューを取り付けます。SCSスクリュードライバー、ラチェット、トルクコントロールディバイスを用いてスクリューを35Ncmで締め付けます。

注）
フリクションフィットが装着の際にスクリューをインストルメントに固定するため、安全に取扱いできます。追加のスクリューが必要な場合は、「4.4 修復: CARES® インプラントブリッジ&バーの条件」の表で対応する製品番号を確認してください。

ステップ5
最終修復物を固定します。

5. インスツルメント

5.1 SCS スクリュードライバー

製品番号		製品名	サイズ
046.400		SCS スクリュードライバー（極短）	長さ 15 mm
046.401		SCS スクリュードライバー（短）	長さ 21 mm
046.402		SCS スクリュードライバー（長）	長さ 27 mm

5.2 ラチェット

製品番号		製品名	サイズ
046.119		ラチェット （サービスインスツルメント付）	長さ 84 mm

5.3 ポリッシングエイド、技工用アナログホルダー

製品番号		製品名	サイズ
046.245		ポリッシングプロテクター	長さ 15 mm
025.2920 025.2920-04		NC ポリッシングエイド	長さ 16 mm
025.4920 025.4920-04		RC ポリッシングエイド	長さ 16 mm
046.239		技工用アナログホルダー	長さ 105 mm

5.4 バー用補助インスツルメント

製品番号		製品名	サイズ
046.150		全てのバーフィメールのための アクチベーターセット*	長さ 50 mm
046.151		ドルダーバーミニ用 アクチベーター*	長さ 66 mm
046.152		ドルダーバースタンダード用 アクチベーター*	長さ 66 mm

*この製品は、弊社では取り扱っておりません。

5.5 Wax-up キット

製品番号		製品名
019.0063		アクセサリ Wax-up アバットメントキット
019.0050		アクセサリ Wax-up キット for Cam
019.0051		アクセサリ Wax-up キット for NB

6. 関連カタログ・マニュアル

- 「ベーシックインフォメーション Straumann® CARES® 天然歯修復」
- 「ベーシックインフォメーション SURGICAL PROCEDURES」
- 「Straumann® CARES® Visual ソフトウェア マニュアル」

免責規定

ストローマンインプラントは一貫したコンセプトの一部であり、インプラントに付随するオリジナルパーツやインスツルメント類を含め、ストローマン社の指示と忠告に従って使用してください。そうでない場合、ストローマン社および販売者は一切の責任を負いません。

Straumann® CARES® CADCAM製品およびその他ストローマン製品の取り扱いにあたり、使用上の説明に従って安全かつ適切に使用するための十分な知識が必要となります。ストローマン製品の使用に関する説明については、製品発売時の最新情報を口述、書面、電子媒体またはトレーニングコースで提供しています。

ストローマン製品の使用者は、それぞれの患者様に対し、どの製品がどの状況に適当であるか否かを決定する義務を負います。専門的判断の誤りや、ストローマンインプラントの使用またはそれに関連して発生した直接・間接的損害に対し、ストローマン社および販売者は一切の責任を負いません。また使用者は、ストローマンシステムとその使用方法について定期的に学ぶことを強く推奨します。

注意
ストローマン製品を口腔内で使用する場合は、誤飲のないように充分な注意と対策を行ってください。

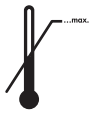
記載内容の有効性について
本書の発行により、旧版はすべて無効となります。

製品の販売について
本書に記載されているパーツやインスツルメントは歯科医師の注文および指示にもとづき販売されることが規定されています。

その他説明書について
ストローマン デンタル インプラント システムに関する詳しい説明書については、弊社担当営業までお問い合わせください。

著作権
本文またはその一部をInstitut Straumann AGの書面による許可なくして複製または発行することはできません。
Straumann® Dental Implant SystemはInstitut Straumann AG社の登録商標です。
Straumann®およびStraumann®製品に使用されるロゴは、Straumann Holding AGの登録商標です。

製造元による表示例

LOT	ロット／製造番号
REF	製品番号
SN	シリアル番号
	最低温度制限
	最高温度制限
	温度制限
Rx only	US連邦法により、この機器の販売は認可された歯科医師に対してのみ、又は認可された歯科医師の指導の下で行うように規制されています。
	再使用禁止（使い捨て用）
	非滅菌
	包装中の添付文書を参照
	使用期限厳守
	直射日光・高温厳禁
CE	CEマークがついたストローマン製品は医療機器指令93/42 EECの要件を満たしています。
CE 0123	
	取り扱い説明書を参照
	壊れもの、取り扱い注意
	湿気厳禁
	この方向を上に

Straumann® デンタル インプラント システムの使用に関するトレーニング・コースも提供しております。
トレーニング・コースに関する情報はwww.straumann.jpをご覧いただくか、弊社担当営業までお問い合わせください。

販売名	一般的名称	分類	承認/認証/届出番号
ストローマンインプラントシステム	歯科用インプラントアバットメント	高度管理医療機器	20900BZY00970000
ゴールドアバットメント	歯科用インプラントアバットメント	高度管理医療機器	22300BZX00108000
テンポラリー アバットメント	歯科用インプラントアバットメント	高度管理医療機器	22300BZX00113000
SCSドライバー	歯科インプラント補綴用器具	一般医療機器	13B1X10163000101
ストローマンインプラント・挿入用インスツルメント	歯科用インプラント手術器具	一般医療機器	13B1X10163000116
ポリッシングプロテクター	歯科インプラント技工用器材	一般医療機器	13B1X10163000138
技工用アナログ	歯科インプラント技工用器材	一般医療機器	13B1X10163000142
ストローマン CARES Scan CS2	歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット	一般医療機器	13B1X10163000158
ストローマンインプラント・アナログ	歯科インプラント技工用器材	一般医療機器	13B1X10163000161
ストローマン ポリッシングエイド	歯科インプラント技工用器材	一般医療機器	13B1X10163000168
CARES Mono スキャンボディ	歯科用印象採得用器材	一般医療機器	13B1X10163000176

www.straumann.jp

ストローマン・ジャパン株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー16階
[カスタマーサービス]
TEL.0120-418-995　FAX.0120-418-089
TEL受付時間：平日9:00〜17:30

本文またはその一部をInstitut Straumann AGの書面による許可なくして複製または発行することはできません。
Straumann®および他の商標とStraumann®のロゴは、Straumann Holdings AGおよびその関連会社の商標および登録商標です。

JPM4018R00/2013.09 1K MP